

第五十六回

熊本城（熊本県熊本市）

「愛媛若葉」主宰 高岡 周子 選

熊本市賞

魚の影冷やかなりし江津湖畔

熊本県熊本市 上田 幸子

特選三句

石垣は復興途中秋の雷

愛媛県松山市 松長 聡美

夏祭り花魁道中ひびく下駄

熊本県熊本市 角田 光明

城の影映す石垣夏の月

大阪府茨木市 水国 航希

投句総数 五十句

開函日 令和六年十月三十一日

第五十六回

法隆寺周辺（奈良県斑鳩町）

「愛媛若葉」主宰 高岡 周子 選

奈良・斑鳩町賞

秋の声まづ夢殿のあたりより

奈良県奈良市 倉橋 みどり

特選三句

金鈴子色付きながらたわわなり

大阪府河内長野市 吉澤 裕子

千年の歴史もつ里小鳥来る

兵庫県神戸市 田附 光映

風死して口数の減る法隆寺

神奈川県川崎市 武元 陽一郎

投句総数 五十二句

開函日 令和六年十月三十一日

第五十六回

博物館明治村（愛知県犬山市）

「愛媛若葉」主宰 高岡 周子 選

子規はいく賞三句

猫しやべる漱石の部屋秋日濃し

兵庫県三田市 吉村 玲子

車椅子子に押されては色葉ふる

岐阜県岐阜市 吉田 隆子

かなかなと日が落ち竈に立つ煙

愛知県稲沢市 小崎 忍

特選三句

秋の日に真白き服の巡查立つ

愛知県丹羽郡扶桑町 松原 継彦

柿もみじ猫がくわえて遊んでる

愛知県犬山市 丹羽 美智代

秋風と子供らの声ここちよく

愛知県名古屋市中区 末利 知規

投句総数 四十六句

開函日 令和六年十月三十一日

第五十六回

子規庵（東京都台東区）

「愛媛若葉」主宰

高岡 周子 選

特選三句

菓子パンも梨も好きらし仰臥録

埼玉県行田市 渡辺 倫子

推敲の子規の墨跡涼新た

千葉県松戸市 鈴木 麗門

重さうに垂るる糸瓜の下膨れ

東京都板橋区 岸 来夢

投句総数 六十一句

開函日 令和六年十月三十一日

第五十六回

記念艦「三笠」(神奈川県横須賀市)

「愛媛若葉」主宰 高岡 周子 選

特選三句

戦艦の青空深し原爆忌

茨城県土浦市 山口 優一

猿島の静寂を返す蟬の声

東京都江東区 永野 玲奈

横須賀の勝利を祝う船に虹

東京都板橋区 沢村 真由美

投句総数 九十句

開函日 令和六年十月三十一日

第五十六回

大和ミュージアム（広島県呉市）

「愛媛若葉」主宰 高岡 周子 選

特選三句

船浮かぶ景色に見入る呉の秋

京都府京都市 山本 小都絵

八十年経て静かなる秋の海

奈良県生駒市 西村 耕心

大戦の面影残る秋の暮

岡山県倉敷市 伊藤 大悟

投句総数 九十七句

開函日 令和六年十月三十一日

第五十六回

歴史博物館・漱石公園（東京都新宿区）

「愛媛若葉」主宰 高岡 周子 選

特選三句

百日紅文士夏目を伝へけり

愛知県稲沢市 服部 友哉

写真の子口一文字の原爆忌

東京都目黒区 二井 いりな

牧水の母校の空や鳥渡る

東京都新宿区 石黒 大作

投句総数 五十六句

開函日 令和六年十月三十一日

第五十六回

鶴ヶ城（福島県会津若松市）

「愛媛若葉」主宰 高岡 周子 選

特選一句

父さんと背丈が同じになつた夏

東京都多摩市 北村 佑貴

投句総数 二十七句

開函日 令和六年十月三十一日

第五十六回

東松山市（埼玉県東松山市）

「愛媛若葉」主宰 高岡 周子 選

特選三句

突き上げる拳に力鶏頭花

埼玉県川越市 吉野 敬子

初紅葉過ぎ行く時の早さかな

埼玉県東松山市 大井 正行

帰省の子父とおんなじ声になり

埼玉県東松山市 大井 津由子

投句総数 五十六句

開函日 令和六年十月三十一日

第五十六回

羽二重団子本店（東京都荒川区）

「愛媛若葉」主宰 高岡 周子 選

俳句のまちあらかわ賞

該当なし

特選三句

秋澄めり新たなページめくる朝

東京都荒川区 町田 美幸

登山道空へと続くこの一步

東京都荒川区 谷井 千絵

ひつそりと白花の咲く曼殊沙華

愛媛県松山市 河野 瑞仁

投句総数 二十二句

開函日 令和六年十月三十一日